

# ナイスケアだより

第91号

令和1年12月10日発行

介護分野が注目されるようになり、講演や執筆の依頼が増えてきました。記事を書くことや人前で話をするのは好きではないのですが、少しでも介護分野の厳しい現状や課題などの問題提起ができれば良いと思い、引き受けています。12月は上智大学で『人権とケア』という難しいテーマの高齢者問題について講演いたします。

新宿区は、平成29年のデータでは一人暮らし高齢者の割合が33.4%となり、23区で3番目に高い状況です。三人に一人が一人暮らしをしているということです。認知症高齢者の割合も全国的に増加しています。

さらに、医療の進歩もあり、寝たきりの状態でも自宅で最新の医療を受けながら在宅生活を継続する人も増えています。

このような現状では、在宅生活を支えることは以前に比べて難しくなっています。介護職の人材不足や高齢化問題は、とても深刻な原因の一つです。



私自身でできることは限られますが、行政、地域住民に提言するとともに、所属するネットワークなどと協力し、解決策を検討し、実行することが大切と考えています。ナイスケアとしても地域の高齢者が安心して生活を継続できるように頑張ります。

有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

## ～一陽来復～

穴八幡宮(新宿区早稲田)で冬至(今年は12月22日)から節分の間に授かることのできるお守りに『一陽来復』があります。

『一陽来復』とは、冬が終わり春が来ること、新年が来ること、また、悪いことが続いた後で幸運に向かうことで、陰気が去り開運して陽気を迎え起死回生し、のびのびと楽しい生活ができることとされています。

授かったお守りはその年の恵方の反対側に貼ります。恵方とは、その年の福德を司る神である『歳徳神(としとくじん)』がいる方位です。新年の恵方は『庚(かのえ)』で方位角255度(西よりやや南)ですので、反対の方位の『甲(きのえ)』である方位角75度(東よりやや北)の高い位置に、『一陽来復』の文字が恵方である『庚』を向くように貼ります。貼る日時は、冬至、大晦日、節分の深夜24時、日付が変わるタイミングです。

深夜の正確な時間に高い所へ貼ることになりますので、焦って転落しないよう十分に気をつけてください。

私も毎年除夜の鐘が鳴った瞬間にお守りを貼り替え、お財布には『懐中守り』を入れて、1年お金に不自由しないように願っています。

小松 昌美